

プログラミング 3

計画書

提出日 :2009年7月31日(金)
学籍番号 :075755B
氏名 :比嘉勇人

目次

1	作成するもののターゲットユーザと目的	1
2	作成するプロトタイプの概要	1
3	プロトタイプ作成に使用するツール (Server などを含めて)	1
4	グループ参加者	1
5	プロジェクト実現に必要な物	1
6	8月と9月のプロジェクト計画	2
7	授業の進め方に対する提言	2
8	7月1日の授業にこなかった言い訳	2

1 作成するもののターゲットユーザと目的

過去のソースコード読み会などの勉強会では、ソースコードの画面と講師を写した映像などを配信することで、その場に居ない人を参加させていた。しかし、その配信された画面ではまともに文字が見える状態ではなく、何をしているのかわからない状況があった。そのようなことを解決したいと思い、開発に至る。ターゲットユーザとしては、主に勉強会講師・参加者である。

2 作成するプロトタイプの概要

今回作成するものは、自分の画面を見せてあげるツールである。以下に作成するものの特徴を挙げる。

- 複数画面 (カメラからの映像、サイズを設定した画面、アプリケーション毎など) を配信することができる。
- それぞれの画面に合った、画質・コマ数・サイズ等を閲覧者自身も設定できる。
- 1対多の通信に対応。配信者一人、閲覧者多数。
- 閲覧者はコメントすることができる。
- 配信者はカメラ・マイクでも発信することができる。
- 配信内容は保存され、追いかけて再生ができる。また、いつでも見ることができる。

作成するものの特徴は、複数画面をクライアント側で自由にできることである。例えば、配信者が、カメラからの映像、ソースコード(テキストエディタ)、スライドの3つを同時に配信しているとすると、閲覧者は見たいもの・見る必要のないものを選択することができ、さらにそれぞれの画質・コマ数・サイズを設定することで、見たい画面を確実に見ることができる。プロトタイプでは、1対1で複数画面の配信・閲覧が行えるように実装する。

3 プロトタイプ作成に使用するツール (Server などを含めて)

今回は Ruby を使用してプロトタイプを作成する。フレームワークは Ruby on Rails を使用する。

4 グループ参加者

現在は1人です。参加者が増えると良いのですが。

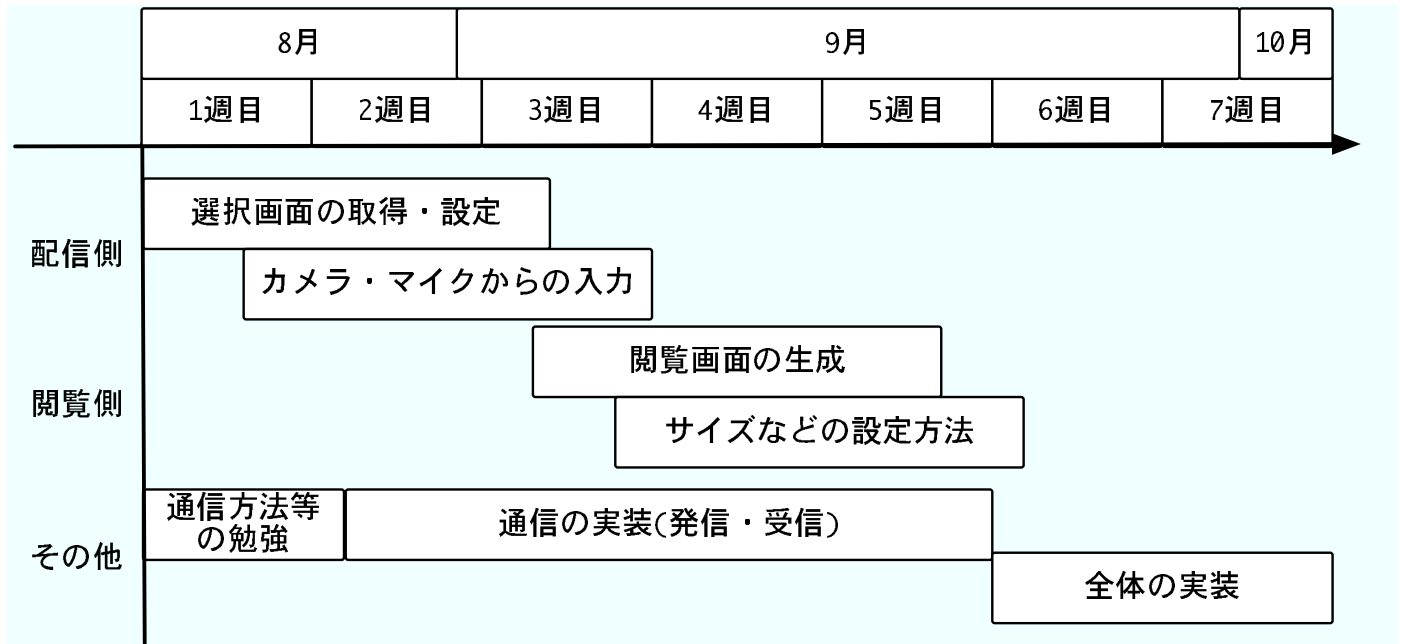
5 プロジェクト実現に必要な物

今のところ、特に必要な物は思い当たりませんが、参考として Remoto Editing Protocol(REP) についてのドキュメントやソースコードが見たいです。

後期は Google Wave も触りたいので、それらの開発に関わるもので必要な物があれば、欲しいです。

6 8月と9月のプロジェクト計画

夏期休業中の7週間を以下のように使い、プロトタイプ作成を完了させる。具体的には、1対1で画面の配信(カメラ・マイクの入力有)、受信、サイズ等の変更を行えるまでは実装したい。できれば、複数人に対応、保存機能の実装や、閲覧画面のインターフェイスを整えるなどを行いたい。



7 授業の進め方に対する提言

授業の進み具合が遅く感じられることがありました。もうちょっと早く、作成にとりかかりたいと思いました。

8 7月1日の授業にこなかった言い訳

出席しました！